

「ガス小売供給約款等の一部（ガス料金の原料費調整制度に関する部分等）変更」についてのQ & A

●変更の時期はいつからですか。

2019年（令和元年）5月1日からです。

●原料費調整制度とはなんですか。

- ・都市ガスの原料となるLNG（液化天然ガス）やLPG（液化石油ガス）は、原油価格や為替レートの影響などにより価格が変動します。
- ・原料費調整とは、こうした原料価格の変動を毎月のガス料金に適切に反映させる制度です。
- ・具体的な原料費調整の算定式につきましては、ガス小売供給約款（ガス小売供給約款料金の場合）の「23. 単位料金の調整」をご確認願います。

●なぜ今回の変更を実施するのですか。

都市ガスの主原料をLPGからLNGへと転換（原料転換）してから2年が経過したことで、原料費調整を算定するうえでの原料構成比について、当初の設定値との乖離がみられるようになりました。

今回、この原料構成比を見直すことで、世界各地に埋蔵量豊富な価格安定性に優れるLNG輸入価格をより反映させたガス料金となります。

●どの契約種別が変更の対象となりますか。

当社との都市ガス供給契約の全てです。

具体的には、以下の契約です

- ガス小売供給約款
- 家庭用厨房・給湯・暖房契約（トリオプラン）
- ガスストーブ等専用契約（ストーブプラン）
- 小型空調契約
- 融雪用季節契約

●具体的に、どこが変わりますか。

(1) 原料費調整制度に関する変更（単位料金の調整に係る算定式）

①基準平均原料価格（トン当たり）

（新）基準平均原料価格	（旧）基準平均原料価格
63,890 円	50,260 円

②平均原料価格の算定式

（新）平均原料価格の算定式	（旧）平均原料価格の算定式
トン当たり LNG 平均価格×0.9572 +トン当たり LPG 平均価格×0.0466	トン当たり LNG 平均価格×0.5287 +トン当たり LPG 平均価格×0.5179

③単位料金を調整する際に使用する係数（1立方メートル当たり）

（新）単位料金の調整	（旧）単位料金の調整
基準単位料金±0.086 円×原料価格変動額／100 円×（1+消費税率）	基準単位料金±0.091 円×原料価格変動額／100 円×（1+消費税率）

④原料費調整における上限バンドの廃止

原料価格の変動を料金に適切に反映させるため、「単位料金の調整」における「平均原料価格」の上限に関する規定（ガス小売供給約款 2 3.（2）②ただし書き等）を削除します。

(2) 基準単位料金の変更

契約種別	（新）料金表		（旧）料金表		
	基準単位料金	調整後単位料金 （2019年5月） お客さまにお支払い いただく単位料金	基準単位料金	調整後単位料金 （2019年5月） お客さまにお支払い いただく単位料金	
小売約款	A	217.7280	217.7280	206.0424	217.7280
	B	187.8984	187.8984	176.2128	187.8984
	C	171.3744	171.3744	159.6888	171.3744
トリオ	A	217.7280	217.7280	206.0424	217.7280
	B	187.8984	187.8984	176.2128	187.8984
	C	136.9656	136.9656	125.2800	136.9656
ストーブ	157.4856	157.4856	145.8000	157.4856	
空調	他期	122.9256	122.9256	111.2400	122.9256
	冬期	157.7664	157.7664	146.0808	157.7664
融雪用	166.2876	166.2876	154.6020	166.2876	

●今後のガス料金はどのようになりますか。

基準単位料金は変更となりますが、実際にお客さまがお支払いいただく単位料金は原料費調整制度によって算定された調整後単位料金を適用しますので、変更時点（2019年5月）においてお客さまにお支払いいただく金額に変更はございません。

また、今後のガス料金につきましては、LNG 輸入価格をより適切に反映したガス料金となります。

【ガス料金の計算例】

○2019年5月ガス料金の算定例（ガス小売供給約款 A 区分）（税別）

	基準平均 原料価格	2019年5月 平均原料価格	2019年5月 調整額	基準単位料金	調整単位料金
変更前	50,260 円/トン	62,160 円/トン	+10.82 円/m ³	190.78 円/m ³	201.60 円/m³
変更後	63,890 円/トン	63,890 円/トン	±0 円/m ³	201.60 円/m ³	201.60 円/m³

○1ヵ月に12 m³ご使用のお客さまの場合（税別）

（旧算定方法）

$$\begin{aligned} \text{ガス料金} &= \text{基本料金} + \{ \text{ご使用量} \times (\text{基準単位料金} \pm \text{原料費調整による調整額}) \} \\ &= 650 + \{ 12 \times (190.78 + 10.82) \} \\ &= 650 + 2419.2 = 3,069.2 \\ &= 3,069 \text{ 円} \end{aligned}$$

（新算定方法）

$$\begin{aligned} \text{ガス料金} &= \text{基本料金} + \{ \text{ご使用量} \times (\text{基準単位料金} \pm \text{原料費調整による調整額}) \} \\ &= 650 + \{ 12 \times (201.60 \pm 0) \} \\ &= 650 + 2,419.2 = 3,069.2 \\ &= 3,069 \text{ 円} \end{aligned}$$